

## 令和2年度狛江市立学校使用教科書採択結果及び採択理由の概要

令和元年第8回教育委員会定例会（令和元年8月8日開催）において、小学校については全教科、中学校については「特別の教科 道徳」以外の教科、特別支援学級については一般図書等について、採択を行いました。

今回は以下のとおり、採択理由の概要と委員からの主な意見についてお知らせします。

### 【小学校】

#### ＜国語＞光村図書出版

##### （採択理由概要）

言語活動の豊かさ、学校図書館の活用、話し合い活動の積上げについて評価。

##### （委員からの主な意見）

- 言語活動に大事なことは、幅広い語彙力、感じたことや見たことをどのように表現するか、物語などを読んで感性豊かに情緒を深めることで、それを効果的に言葉でいかに伝えられるかということである。本教科書はそれが実現可能である。
- 図書館活用の部分について、発達段階に応じて、段階的に取り扱っている部分が強調されている。
- 学びの方法が非常に丁寧に示されており、特に話し合い活動の方法が具体的な事例を交え、紹介されている。

#### ＜書写＞光村図書出版

##### （採択理由概要）

他教科への広がり、細かい配慮、振り返り等がしっかりしていることを評価。

##### （委員からの主な意見）

- 習字の導入として内容が的確。子ども達が苦手とする部分が模範とともに丁寧に掲載されている。
- 原稿用紙の使い方、手紙の書き方などが丁寧に取り上げられている。
- 実際に書く場面を想定すると、他教科と関連付けた学習が非常に大切。そうした関連性がよく配慮されている。

#### ＜社会＞日本文教出版

##### （採択理由概要）

問題解決学習については各社とも非常に重視している。近隣事例（身近な事例）の豊富さや主権者教育の視点、斬新なこれまでにない視点の資料について評価。

##### （委員からの主な意見）

- 自然災害から命を守るところで、多摩川堤防決壊の碑の掲載もあり特徴として良い。地域密着型の記述が多く、多摩川の鮎のことも記述がある。狛江で学ぶこと

を考えると適している部分が多い。

- 単元の最後の「私たちの学びを活かそう」というところで、発展的な深い知識が得られる。
- 歴史学習における当時の臨場感の豊かさ、近隣事例の多さ、政治学習も含め斬新な視点ということで評価できる。

#### <地図>帝国書院

(採択理由概要)

地図の導入機能が適切。東京都に関する地図の掲載、ゲーム感覚、親しみやすさを評価。

(委員からの主な意見)

- 色の濃淡、文字と地の色のコントラストが見やすい。
- 4年生の地域学習で活用する東京都の地図が、見開きで切れ目なく掲載されている。
- 今回、3年生から給与される。色の具合、活字の大きさ等、3年生からの導入が意識されている。3年生の学習との連動性も丁寧に扱われている。

#### <算数>学校図書

(採択理由概要)

問題解決学習として、発見し、生かし、深めるプロセスが構成上、分かりやすく、他教科との連携や生活に密着した学習を重視していることを評価。

(委員からの主な意見)

- 身の回りの算数要素を確認してから学習に入ることができる。機械的に計算していくのではなく、どうしたらこうなるのかということ丁寧に考えて解決していくようにできている。
- 算数も課題解決学習であり、振り返り、フィードバックのところに特徴がある。また、プログラミングを実際にQRコードで試すことができる。
- 6年生の教科書で中学への架け橋というものが分冊になっている。これをしっかりやって中学へ行くということを考える意味で良い。

#### <理科>東京書籍

(採択理由概要)

各社の中でも、問題解決の展開、様々な配慮、メッセージ性という部分を評価。

(委員からの主な意見)

- 問題解決学習の流れ、発展的なまとめ、あるいは生活に帰るようなまとめという点で良い。
- 子どもたちの好奇心を掻き立てながら一つ一つ丁寧に、色々なことを学んでいくことができる。

○生活に身近な事象を挙げて、科学や物理などの一歩手前の事柄に興味をもたせるような仕組みがある。また、確かめをして、振り返って次のステップに進むという構成がとても丁寧である。

#### <生活>東京書籍

(採択理由概要)

図鑑や便利帳の良さ、スタートプログラムとしての位置付け、季節感、自然、社会も含めた気付きからの展開が優れている点を評価。

(委員からの主な意見)

- 巻末ポケット図鑑が付いており、本物の大きさだよと書いてある。また、「活動便利帳」があり、安全や健康、道具の使い方などを紹介しているページがある。
- 地理的な見方・考え方、時間的な経過、歴史的な見方・考え方への繋がりというところで、地図が入っていることや定点で四季の変化を追ってみていくということは重要である。
- 学校の中を探検したり、植物を見たり、色々なことに気付きながら学ぶ上で、子どもたちの楽しい、知りたいということ大切にしている。

#### <音楽>教育芸術社

(採択理由概要)

音楽の楽しさ、歌を通して国家、社会の形成者としての質を育てていく点、曲作りや音楽的な視点を評価。

(委員からの主な意見)

- 歌い継ごう日本の歌というものが同じ形で続けて掲載されており、歌を通して、国家、社会の形成者としての資質を育てていこうとする点が素晴らしい。
- リズムに親しんだり、歌詞や情景を思い浮かべて歌ったり、音の高さの違いに気を付けてハーモニーを楽しんで歌うといったことが学年の成長に合わせて展開されている。
- 発達段階に合うような教科書の工夫がある。歌うときの姿勢でも正しい姿勢を示す写真が掲載されておりイメージがしやすい。

#### <図工>日本文教出版

(採択理由概要)

狛江の実態、あるいは子どもたちの実態や可能性が押さえられており、試行錯誤のヒントになるような見出しが工夫されている点を評価。

(委員からの主な意見)

- 自分の環境を活かす形で創造性や達成感をもてる活動という点で、題材的にも作業的にも子どもたちの日常感覚に合っている。スタートから作品に仕上げていく達成感をもちやすい題材が多い。

- 図書活動と連携して自分の大好きな物語から作品をつくるようになっている。教室や学校の中で、実現可能で面白い作品が出来上がっていくと思う。
- 活動の中に吹き出しがあり、作業を行いながら試行錯誤し、より良いものを作っていく学びの過程、活動の過程が良い。

#### <家庭>東京書籍

##### (採択理由概要)

チャレンジ精神が湧いてくる題材、安全面が適切に整理されている点、作業手順の分かりやすさ等を評価。

##### (委員からの主な意見)

- 「思いを込めて何か作ってみよう」、「やってみよう、挑戦してみよう」などといった構成で実践することから始まっている。また、話し合いや、みんなで工夫していく場면을重視している。
- 道具の使い方や手順が端的で見やすい。品質のマークや環境についてのリサイクルのマーク、分別収集のマークなど、生活に密着している。
- 安全指導や衛生指導がしっかりと押さえられている。
- 裁縫や料理、住まいの季節ごとの入れ替えなど、実際にやってみようという気持ちになる。

#### <保健>光文書院

##### (採択理由概要)

これからの健康課題の小学校段階での取り上げ方や1時間単位の指導の流れ等を評価。

##### (委員からの主な意見)

- 1単位時間の流れがはっきりとして分かりやすい。また、1時間の授業の中である程度の趣旨・考え方が整理されている。
- 現代的な健康課題、例えばインターネット犯罪、感染症等への言及が丁寧である。
- 他の人とは違うのか等、不安なことがあったら信頼する大人に相談して良いというメッセージが明確に書かれている。「共に支え合う社会」という部分で、多様性を取り上げている。

#### <英語>学校図書

##### (採択理由概要)

英語を活用する場面に則して、自然で実践的な表現が使われていることなど、実際に外国語を使う、日頃から英語に触れる活動内容を評価し、総合的に判断。

##### (委員からの主な意見)

- 難しすぎて、(英語を)嫌いになるのが良くない。外国語は嫌いにならないことが大切。一般の教師が授業を行うことも考えて内容を吟味する必要がある。

- 街案内の活動をはじめ、テーマと活動がしっかりとマッチングしており、非常に丁寧に扱われている。
- 実際に使いやすくイメージしやすい場面設定が適切になされている。
- （英語）表現が非常に自然である。ネイティブの方が聞いても疑問に思わない。

## ＜道徳＞東京書籍

### （採択理由概要）

生活の中の事例を通して多様な価値を考えていく展開、心に沁みる題材の多さ等を評価し、総合的に判断。

### （委員からの主な意見）

- 道徳は、色々な考えがあること、自分以外の考え方、物事、世界を知ることを通して心を育てていくものである。
- 子どもたちの心をどう育てるかを考えた場合、身近な生活の中でポイントを絞って事例が挙げられていることが重要。
- 子どもが多様な価値を考えていく展開が重要である。発問が多すぎず、細かすぎないものであり、子どもが主体性や学びへの姿勢を作っていく意味で何を学ぶのかを子どもたちが把握できるものが良い。
- 子どもたちの心に沁みていくような題材が多く、深めたいポイントがシンプルではっきりとしている。

## 【中学校】

中学校の教科書については、各教科とも基本的な内容は平成26年度の検定合格本と変更はないこと、また、これまで使用した教科書について、あと1年間使用することについて、各教科とも特段の課題は挙がっていないことを協議の中で確認した。

協議の結果、中学校の教科書については、前回採択と同様の教科書を採択することを決定。

## 【特別支援学級】

特別支援学級用図書については、原則として検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用するが、教科により当該学年の検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用することが適当でない場合、これらに代わる適切な一般図書等を使用することができる。

各特別支援学級設置学校において、調査・研究の上、児童・生徒の教科の主たる教材としての内容を備えた教育上適切なものとして挙げられた一般図書等について全て採択。

※ 審議の詳細は、令和元年第8回教育委員会定例会議事録をご確認ください。